

栗田工業株式会社

2017年3月期決算説明会

(証券コード: 6370)

2017年5月2日

I 2017年3月期実績

II 2018年3月期計画

III 経営の方向性

参考資料

I . 2017年3月期実績

1. 業績ハイライト
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
3. 水処理薬品事業
4. 水処理装置事業（電子産業向け）
5. 水処理装置事業（一般産業向け）
6. 財政状態

I. 2017年3月期実績

1. 業績ハイライト

(単位: 億円)

	2016/3期	2017/3期	対前期比	修正計画	期初計画
受注高	2,213	2,187	- 1.1%	2,180	2,230
売上高	2,144	2,142	- 0.1%	2,160	2,220
営業利益	198	195	- 1.9%	185	215
経常利益	204	201	- 1.8%	190	220
親会社株主に帰属する 当期純利益	126	145	+ 15.3%	120	140

- 売上原価からPPAの一時的な影響が消滅。
- 販管費における退職給付費用の一過性の負担が減少。
- 税金費用の負担が軽減。

為替レート (単位: 円)	2016/3期 実績	2017/3期 実績
USD	121.05	108.84
EUR	134.31	120.33
RMB	19.22	16.37

I. 2017年3月期実績

2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

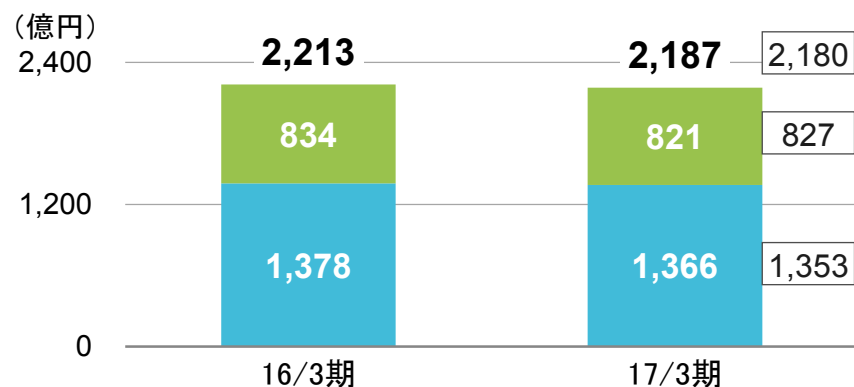
■ ● 水処理薬品事業

■ ● 水処理装置事業

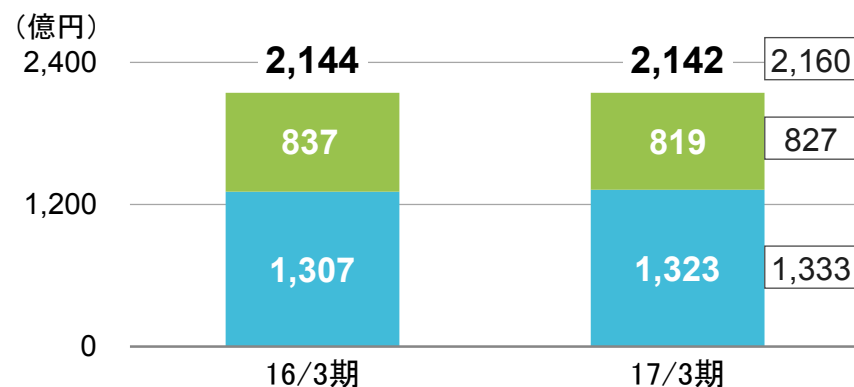
● 全社

* □ 内は修正計画

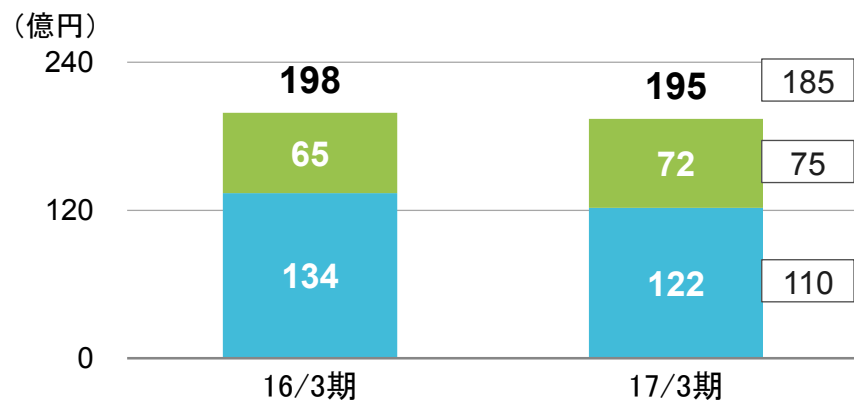
受注高



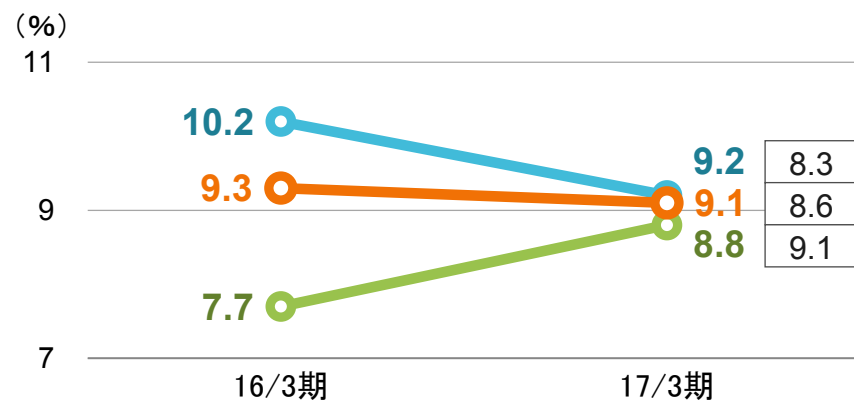
売上高



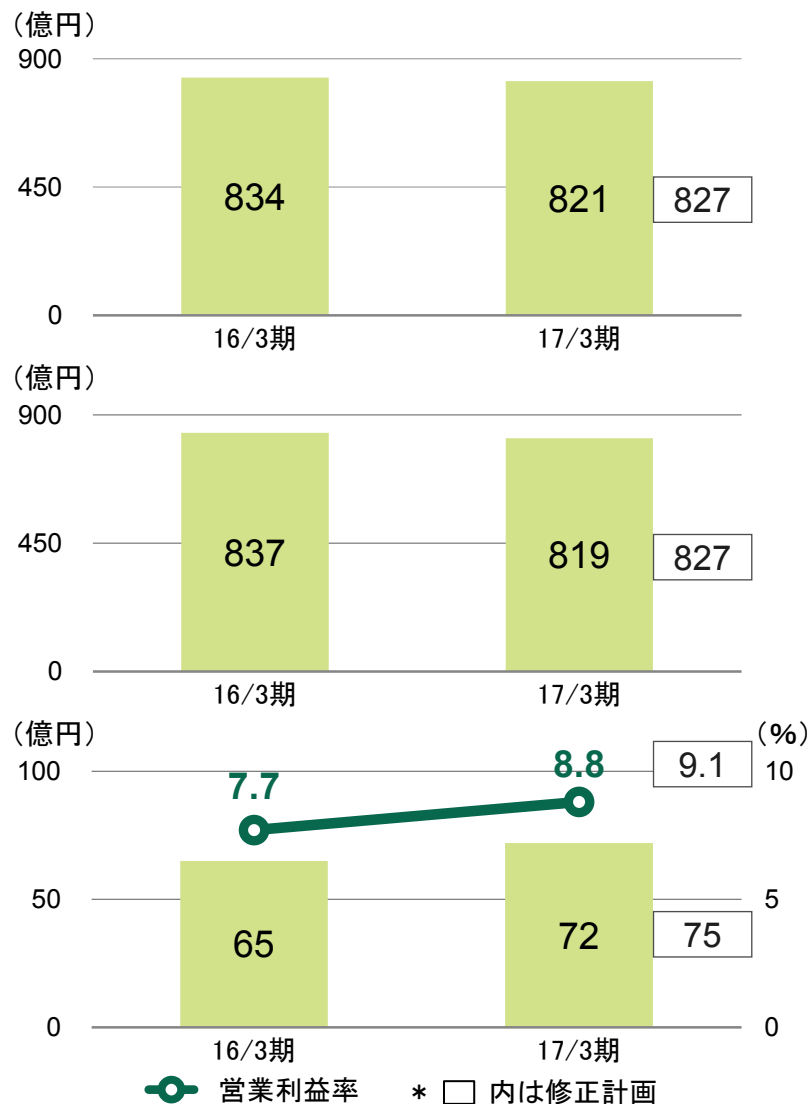
営業利益



営業利益率



3. 水処理薬品事業



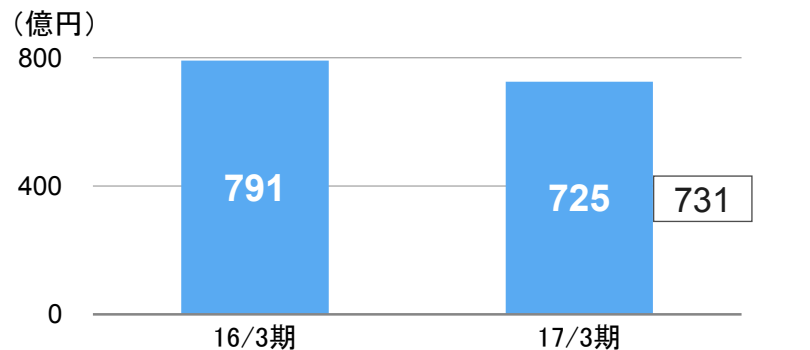
受注高・売上高

- 円高進行により海外子会社の円換算額が減少。
- 国内売上高は前期比2.1%増。
- 海外売上高は前期比6.5%減。
- 現地通貨ベースの海外売上高は前期比6%増。
- 国内では、ボイラ薬品、冷却水薬品が増加。

営業利益

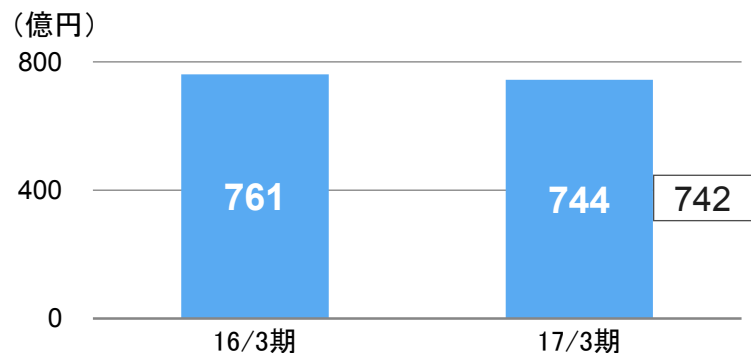
- PPAの影響うち一過性の負担が消滅。

4. 水処理装置事業（電子産業向け）



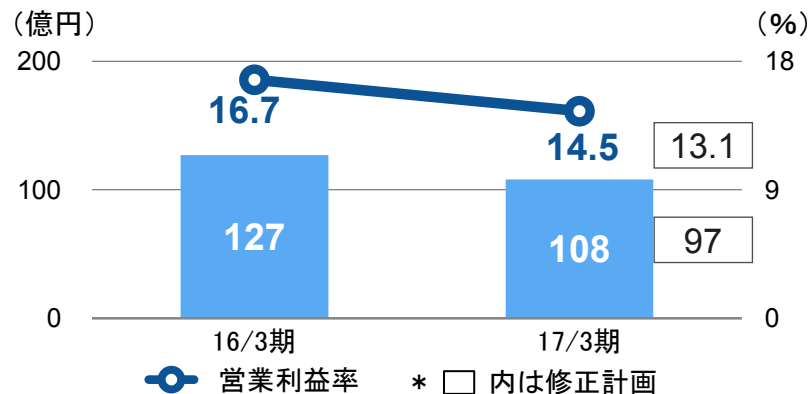
受注高

- 中国・台湾の液晶・半導体向けが減少。
- 国内ハードが電子部品向け大型案件により増加。
- 国内超純水供給事業は一部顧客の契約変更により減少。



売上高

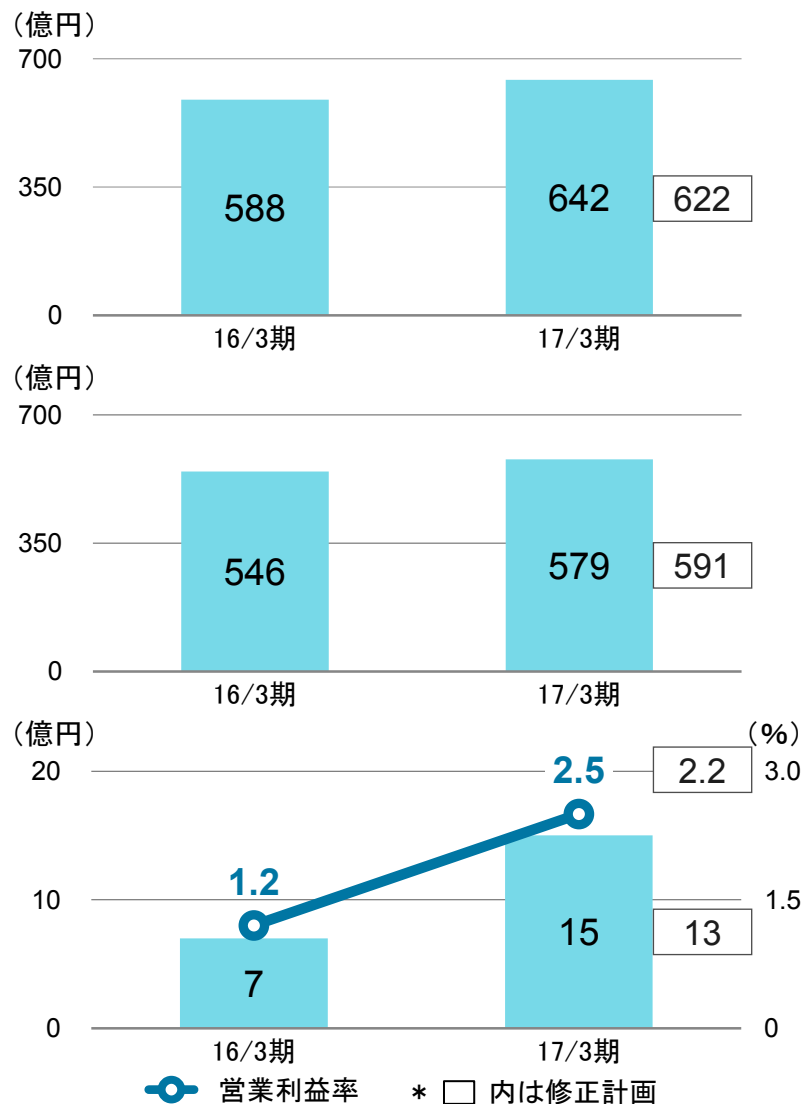
- 海外ハードは中国、韓国向け大型案件の計上により増加。
- 国内超純水供給事業は一部顧客の契約変更により減少。



営業利益

- 超純水供給事業の減収による影響。
- 海外事業の採算が改善。

5. 水処理装置事業（一般産業向け）



受注高

- 火力発電所向け水処理装置と土壌浄化で大型案件を受注。
- メンテナンスが老朽化対応や効率化投資を取り込み増加。

売上高

- 電力向けハードは減収。
- 一般産業向けハード、メンテナンス、土壌浄化は増収。

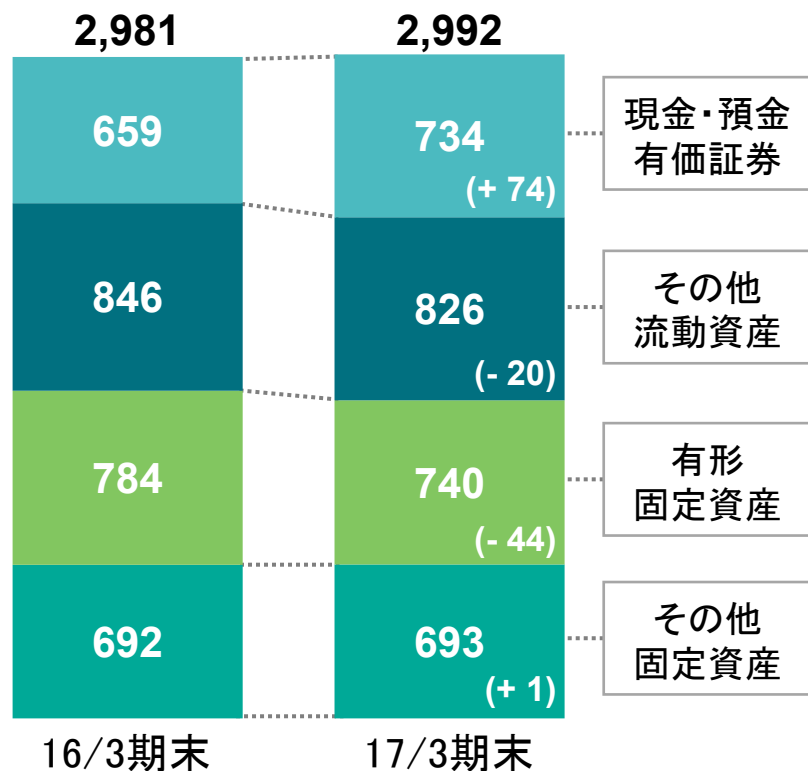
営業利益

- 電力向けハードが減収により減益。
- 一般産業向けハードの採算が改善。
- メンテナンス、土壌浄化は増益。

6. 財政状態

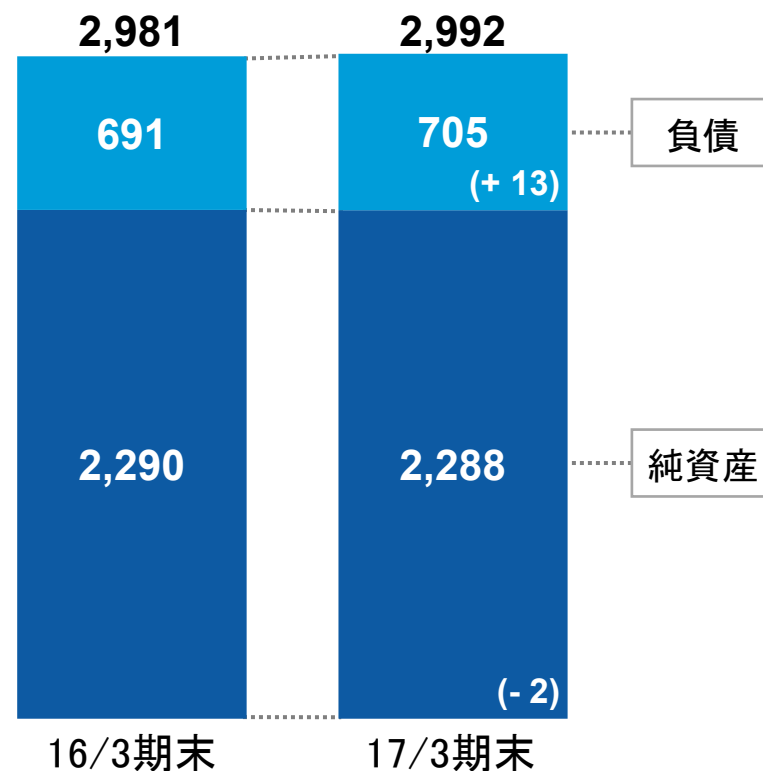
資産

(億円)



負債・純資産

(億円)



- 超純水供給事業用設備の減価償却費が設備投資額を上回り有形固定資産が減少。
- 米国における買収に伴うのれんと顧客関連資産等を計上し無形固定資産が増加。

Ⅱ．2018年3月期計画

1. 外部環境
2. 概要
3. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
4. 水処理薬品事業
5. 水処理装置事業（電子産業向け）
6. 水処理装置事業（一般産業向け）
7. 超純水供給事業の売上高計画
8. 超純水供給事業の主な案件
9. サービス事業売上高内訳
10. 海外事業（地域別・事業別売上高）
11. 設備投資・減価償却費・研究開発費

1. 外部環境

水処理薬品事業

- 国内製造業の生産活動は堅調を見込む。
- 欧州・米国・アジアの景気は堅調を見込むものの、政策次第で下振れリスクもあり。

水処理装置事業

- 国内電子産業の生産活動は堅調を見込む。
- 国内電子産業における大型投資は一部にとどまる。
- 電力と一般産業における設備投資は横ばい基調となるものの、老朽化対応と効率化投資が継続。
- 海外では中国・韓国 of 半導体・液晶投資が継続。

2. 概要

(単位: 億円)

	2017/3期実績	2018/3期計画	前期比	CK-17当初計画
受注高	2,187	2,210	+ 1.0%	2,400
売上高	2,142	2,230	+ 4.1%	2,350
営業利益	195	185	- 4.9%	245
経常利益	201	190	- 5.4%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	145	130	- 10.4%	—

- フレモント社の連結により受注高・売上高・販管費が増加。
- 超純水供給事業における契約変更の影響が残る。

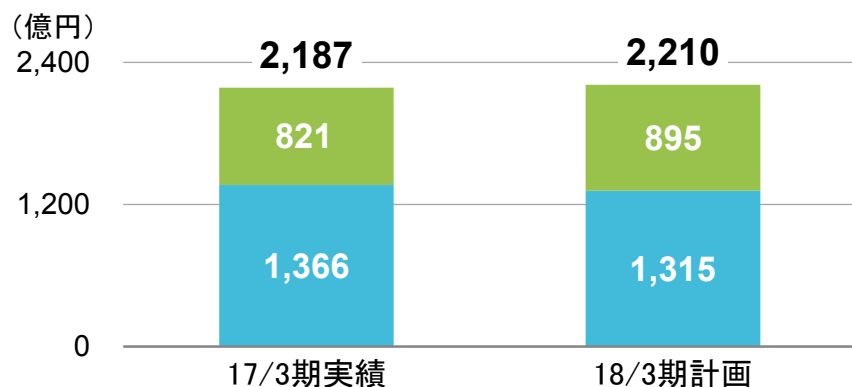
為替レート (単位: 円)	2017/3期 実績	2018/3期 前提
USD	108.84	108.00
EUR	120.33	120.00
RMB	16.37	16.37

Ⅱ. 2018年3月期計画

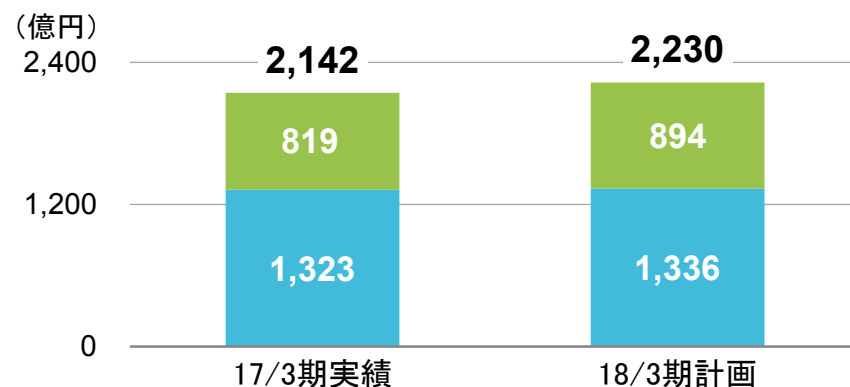
3. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率



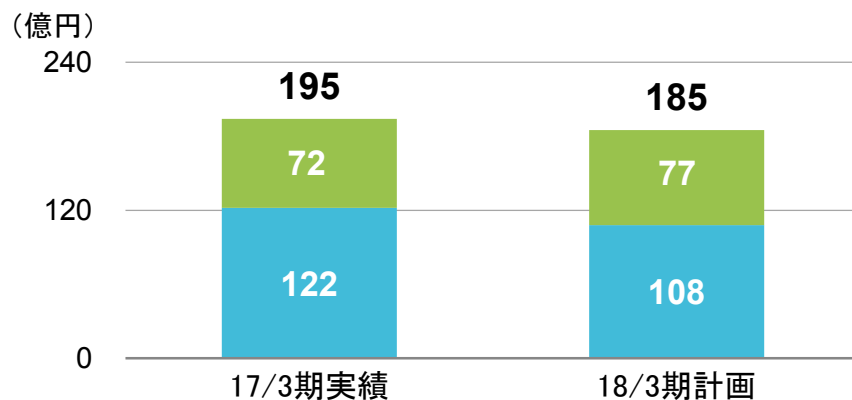
受注高



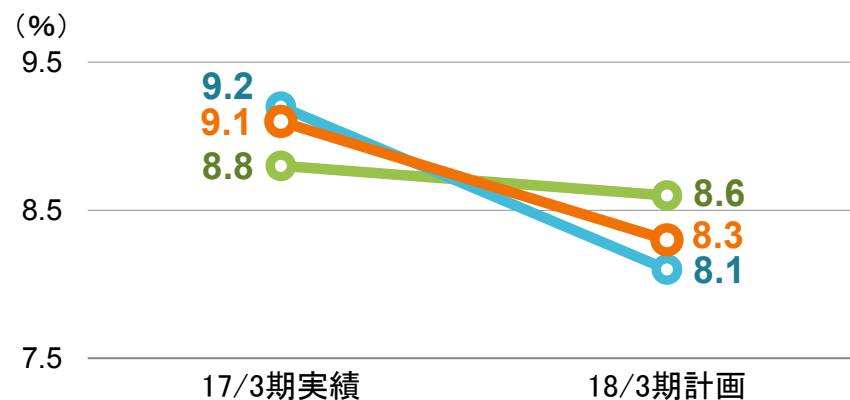
売上高



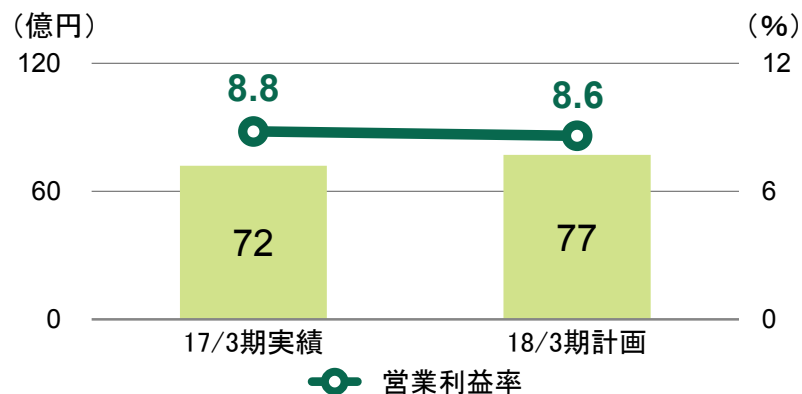
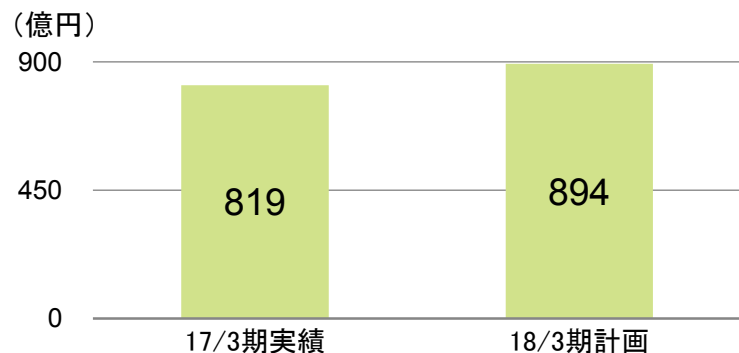
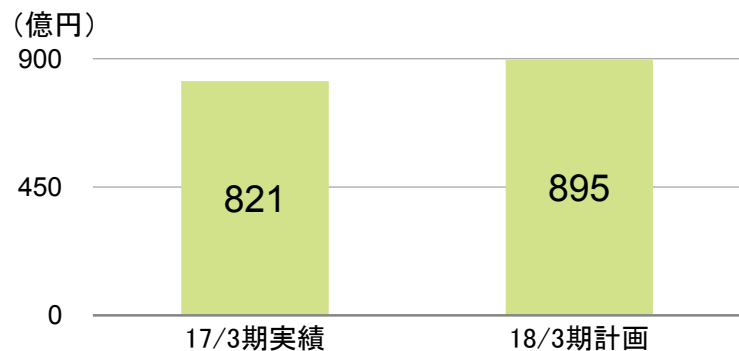
営業利益



営業利益率



4. 水処理薬品事業



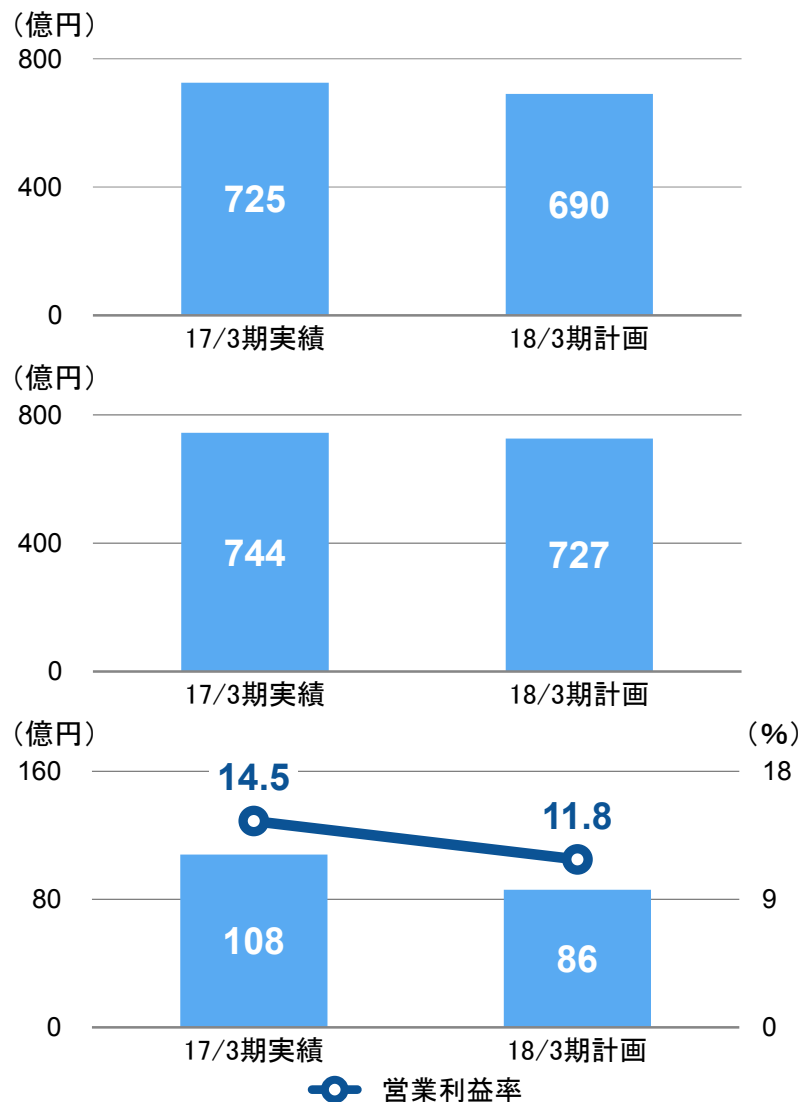
受注高・売上高

- フレモント社を新たに連結することにより増加。
- 国内売上高は2.4%の伸びを見込む。
- 海外売上高は約17%の伸びを見込む(新規連結を除き約7%の伸び)。

営業利益

- 増収効果による増益を見込む。
- フレモント社の連結による影響はない見込み。

5. 水処理装置事業（電子産業向け）



受注高

- 国内ハード・超純水供給事業で減少を見込む。
- 国内メンテナンスの顧客稼働は横ばいを見込む。
- 海外ハード・メンテナンスは増加の見込み。

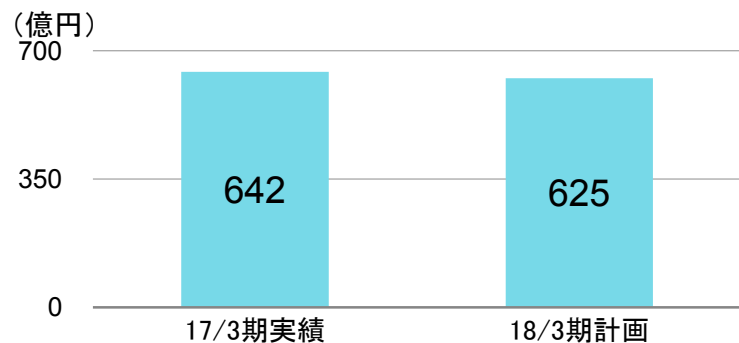
売上高

- 国内ハードが前期の受注を反映し増収の見込み。
- 国内メンテナンスはほぼ横ばい、海外メンテナンスは増加を見込む。
- 超純水供給事業は減収。

営業利益

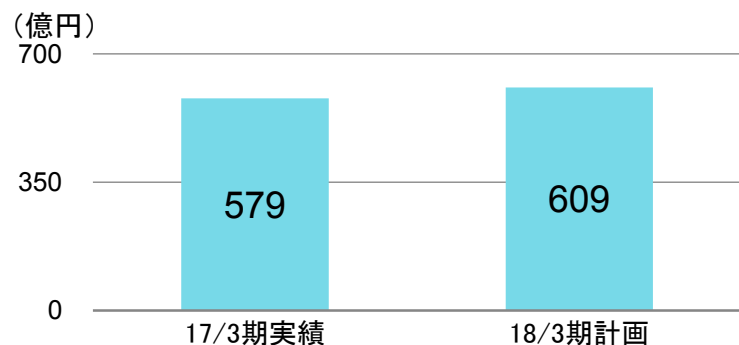
- 超純水供給事業の減収により減益。

6. 水処理装置事業（一般産業向け）



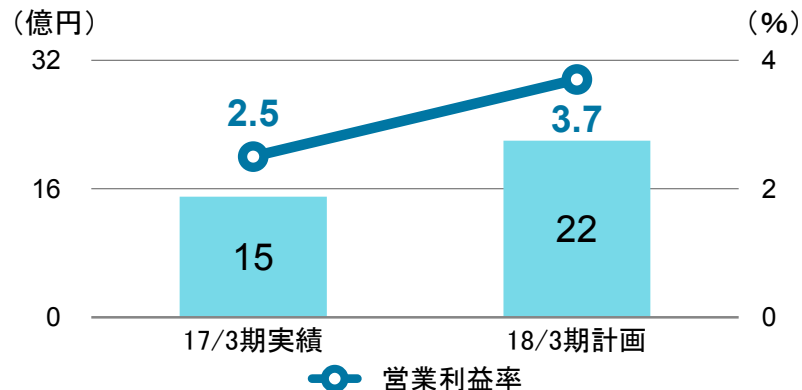
受注高

- 電力向けは大型案件を受注した前期に比べ減少。
- 一般産業向けハードとメンテナンスは老朽化設備更新と効率化投資に期待。



売上高

- 電力向けハードと一般産業向けハードは増収を見込む。
- 土壌浄化は好調な前期に比し減収を見込む。

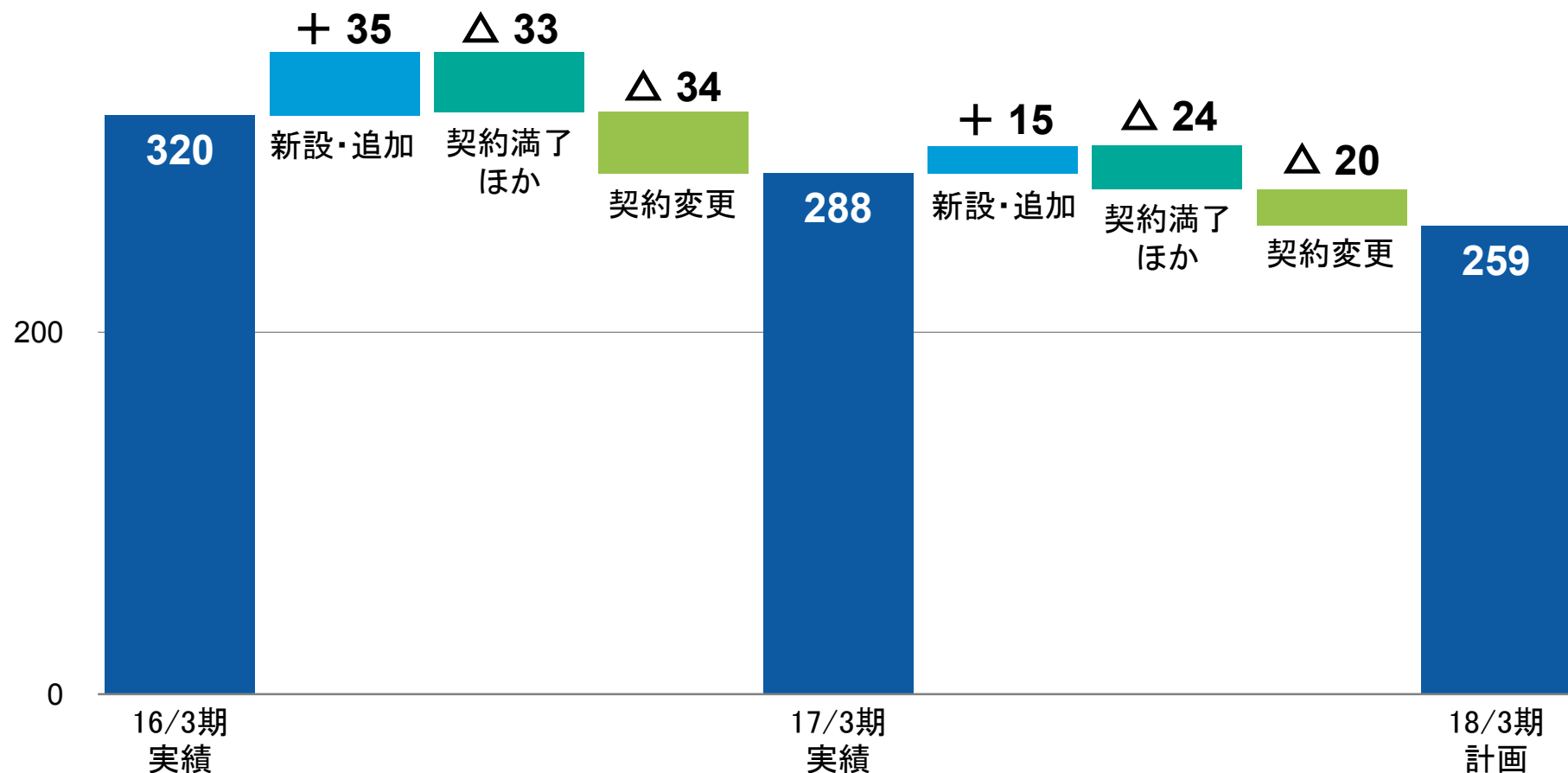


営業利益

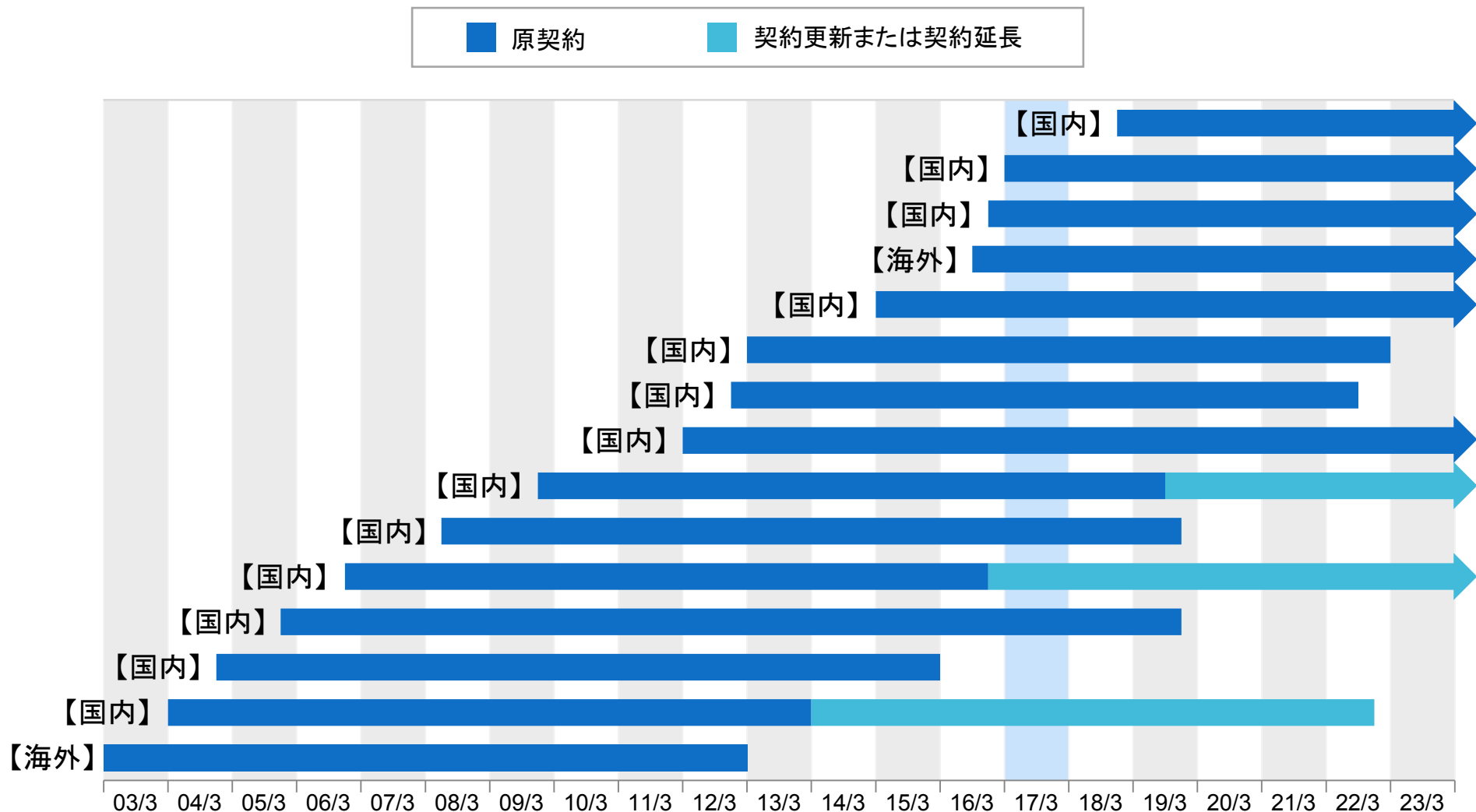
- 電力向けハードと一般産業向けハードの採算改善による増益を見込む。

7. 超純水供給事業の売上高計画

(億円)
400

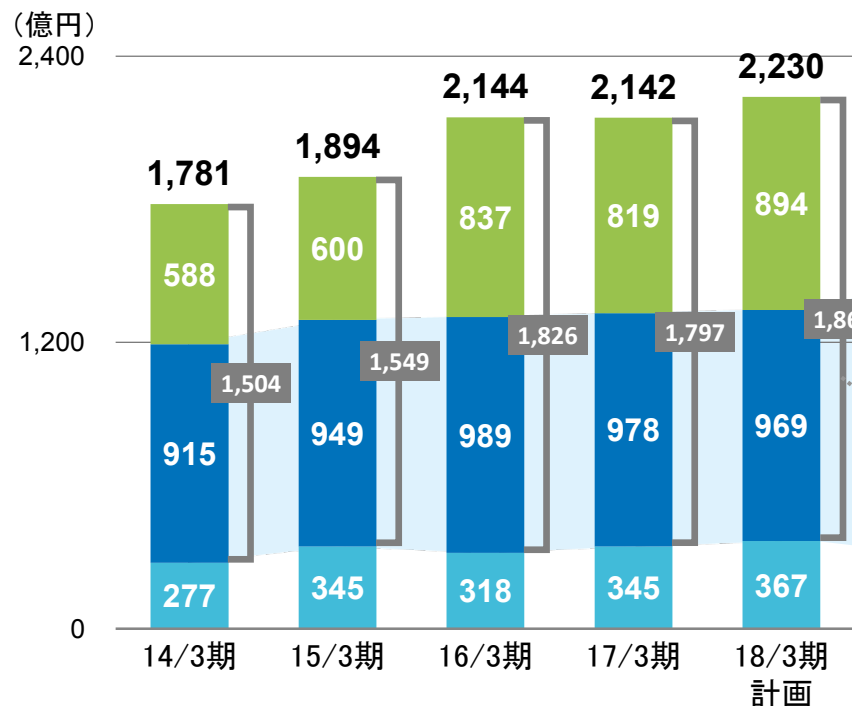
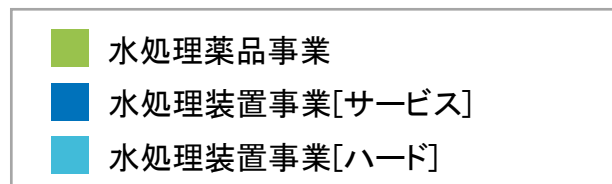


8. 超純水供給事業の主な案件

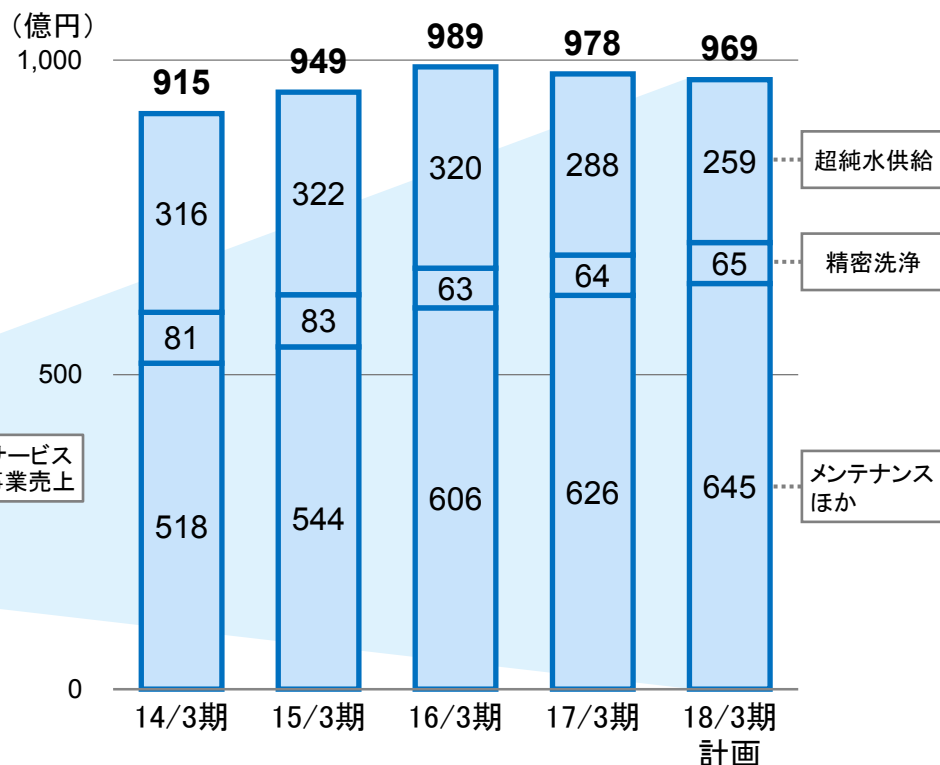


* 上記は主な契約を示しており、すべての契約を網羅するものではありません。

9. サービス事業売上高内訳



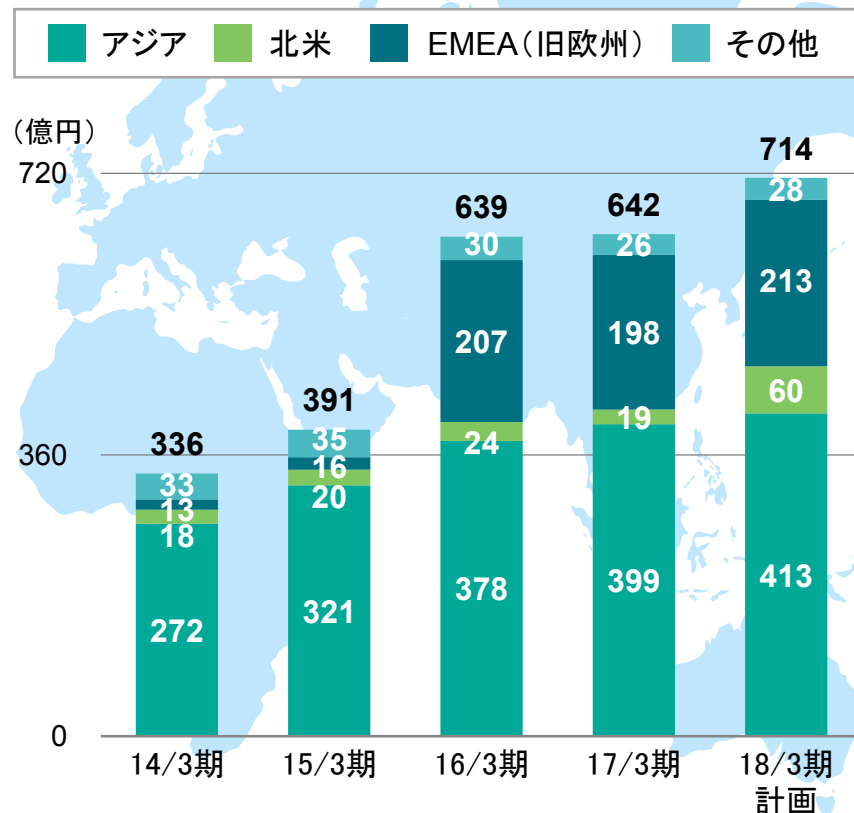
装置事業中のサービス事業売上高内訳



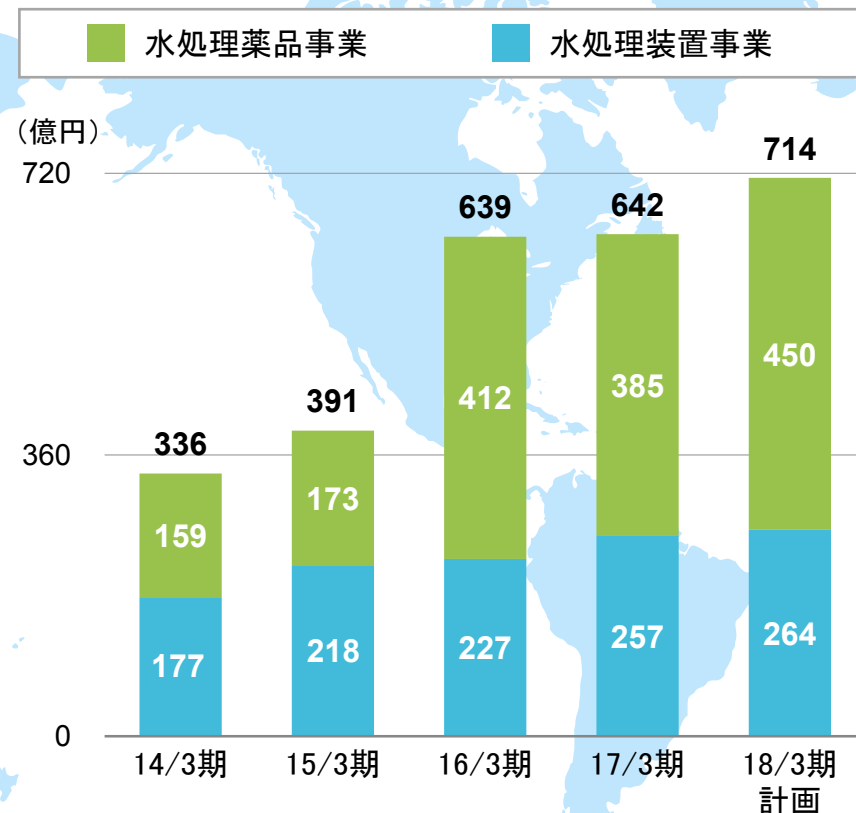
- 17/3期は国内メンテナンスと土壌浄化が堅調。
- 18/3期は国内外メンテナンスが増収、土壌浄化が減収の見込み。

10. 海外事業（地域別・事業別売上高）

海外地域別売上高



海外事業別売上高

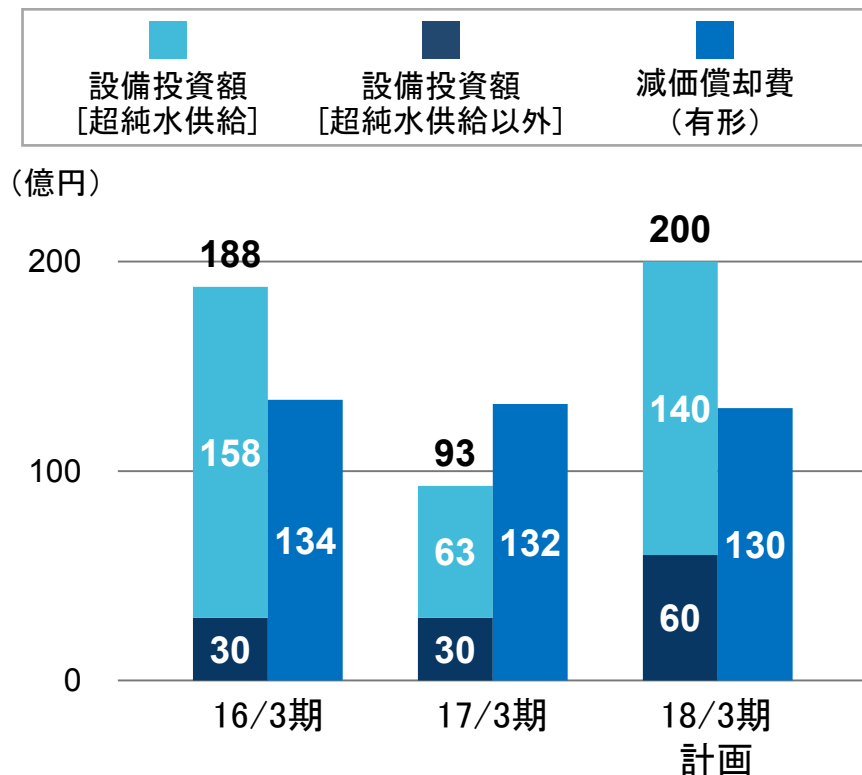


- 17/3期は水処理薬品事業が為替換算の影響により減収、水処理装置事業は東アジア向けで大幅増収。
- 18/3期はフレモント社の新規連結と既存子会社の伸びもあり増収の見込み。

* 16/3期より地域区分を変更しました。このため、15/3期も遡って変更しています。

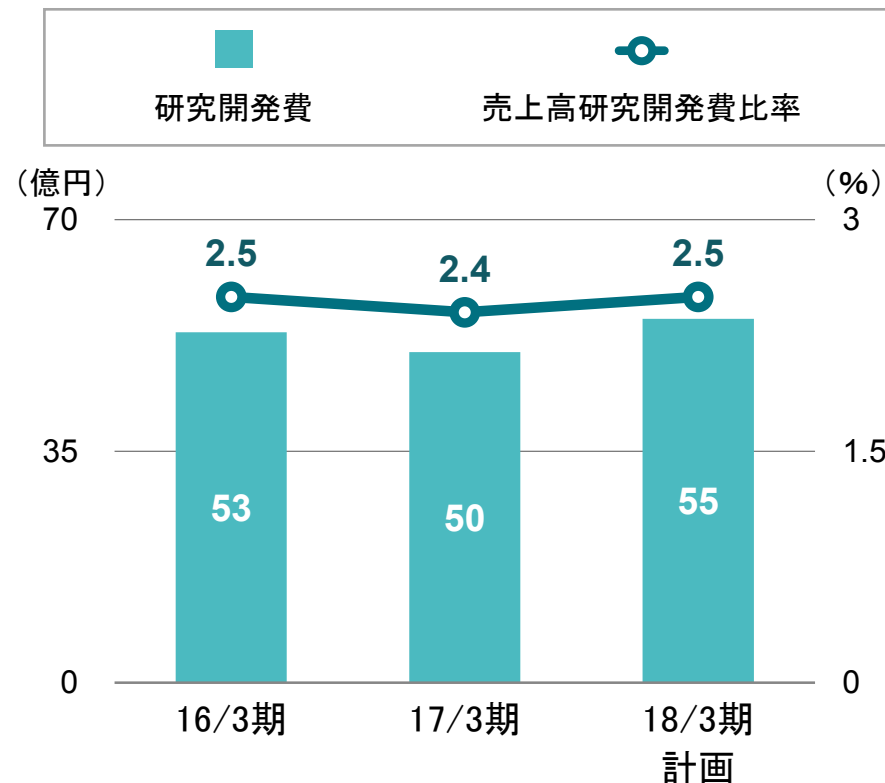
11. 設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費



- 17/3期は超純水供給事業の設備投資が減少。
- 18/3期は超純水供給事業の設備投資とその他設備の更新・増強投資がともに増加。

研究開発費



- 17/3期は為替換算の影響もあり減少。
- 18/3期はグローバルに開発機能を強化。

Ⅲ. 経営の方向性

1. CK-17 (Competitive Kurita 2017) 計画最終年度の方針
2. 海外事業の拡大加速
3. 最先端技術の獲得と新たな展開
4. サービス事業への取り組み強化
5. 資本効率の向上
6. 自己株式の取得と消却

Ⅲ. 経営の方向性

1. CK-17(Competitive Kurita 2017)計画最終年度の方針

基本方針

顧客に最良のソリューションを提供することにより
顧客親密性を高める

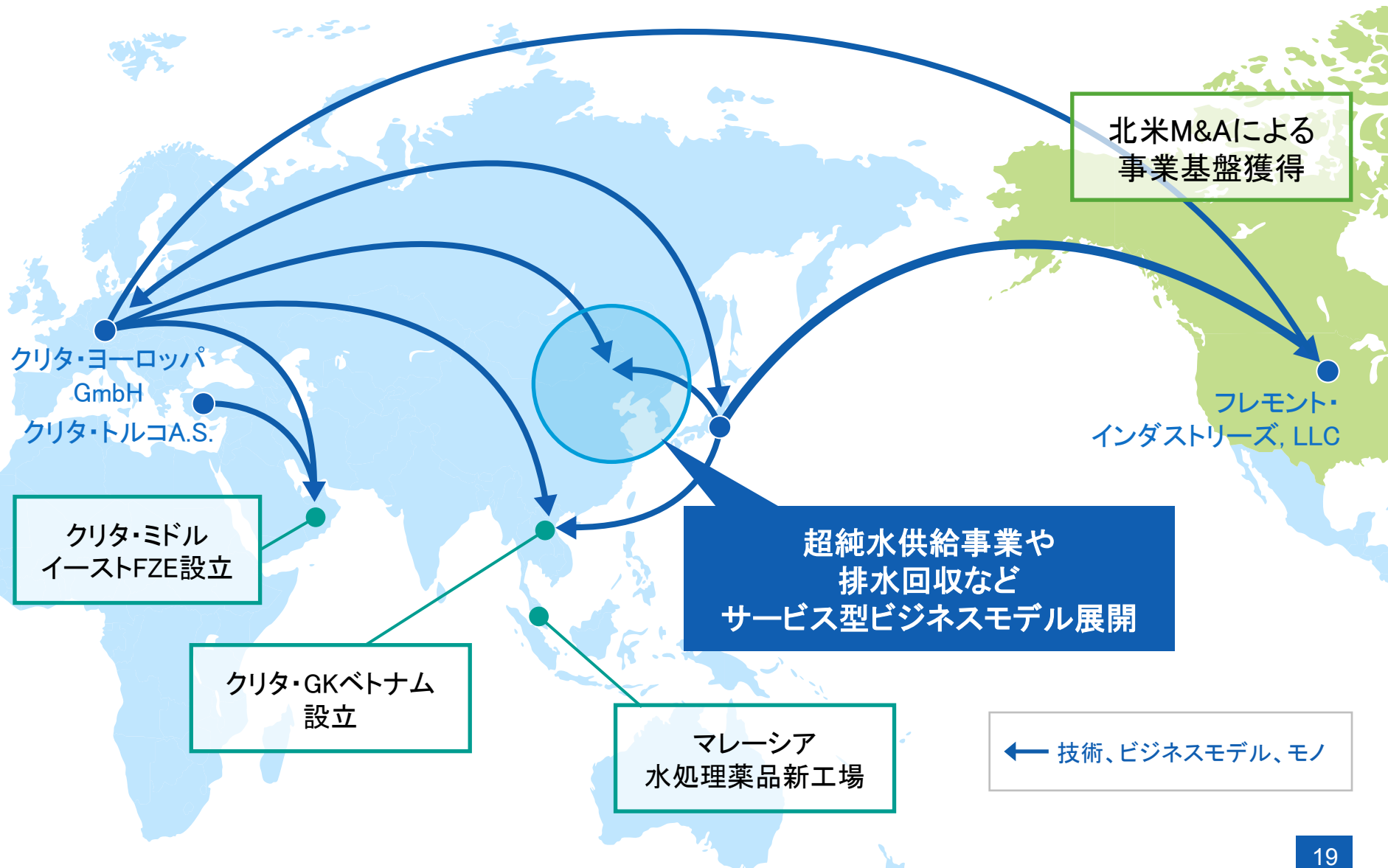
IT技術の
活用による
業務プロセスの
変革

成長分野への
集中投資と
事業の再構築

CSR活動の
強化による
リスクの低減と
競争優位の獲得

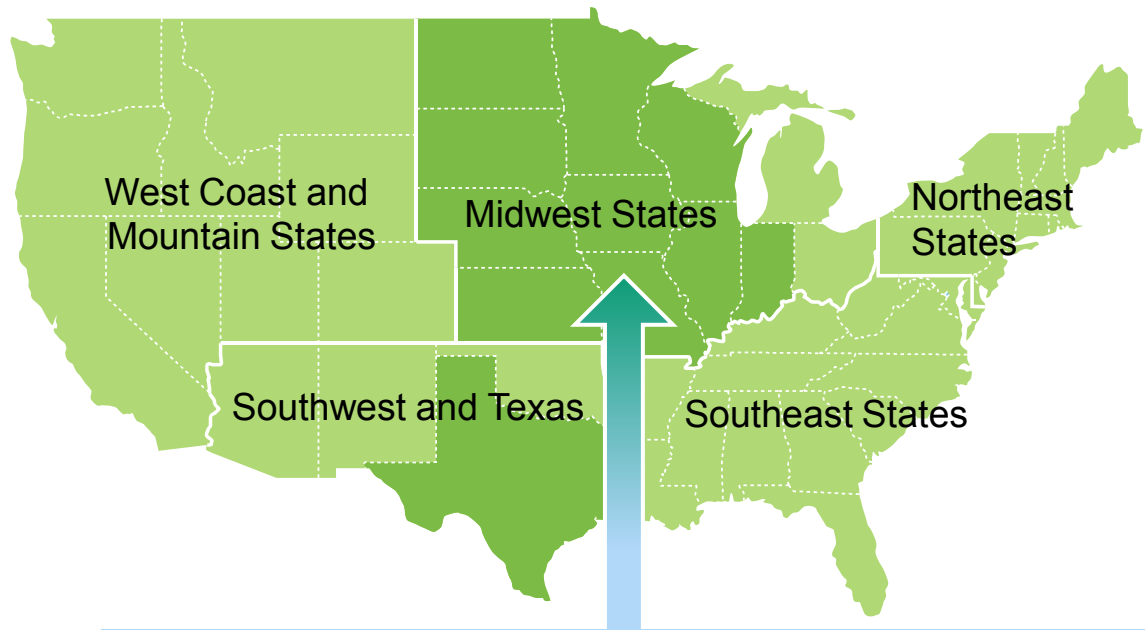
Ⅲ. 経営の方向性

2. 海外事業の拡大加速①



Ⅲ. 経営の方向性

2. 海外事業の拡大加速②



フレモント社の買収により獲得した事業基盤

商 品

ボイラ薬品、冷却水薬品、
排水処理薬品など

顧 客

食品、病院、ビル空調など
2,000社

買収対象

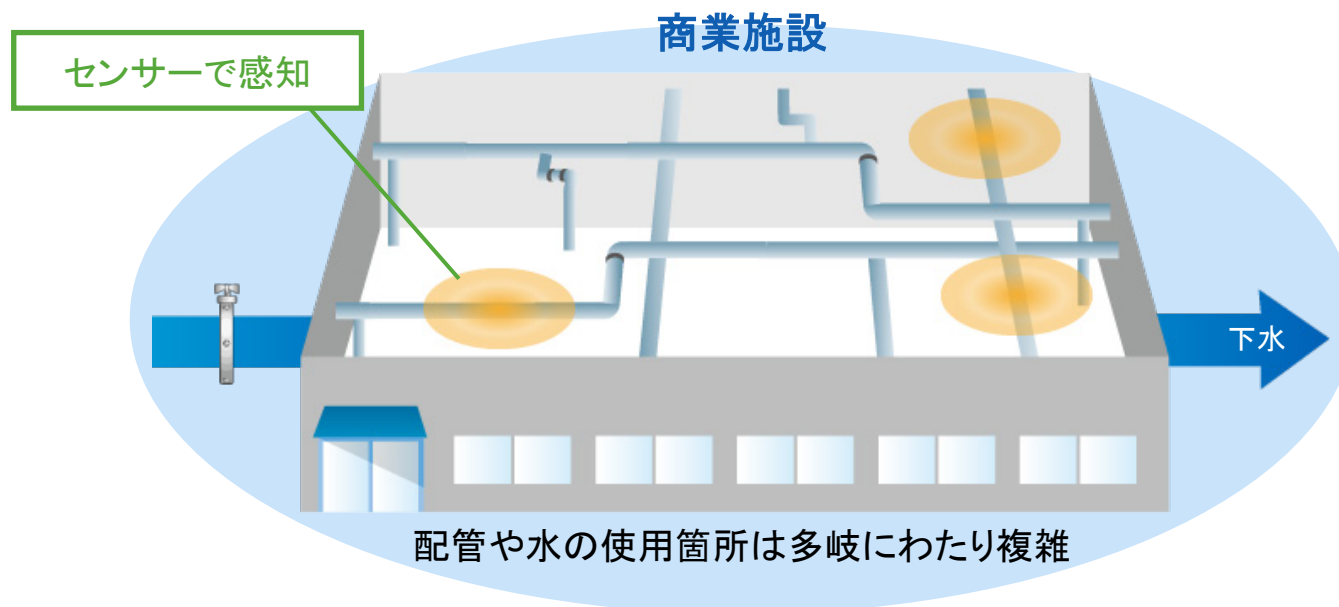
- 地域に密着した販売ネットワークを構築
- 特長ある技術を保有

複数の買収により
米国全土をカバー

Ⅲ. 経営の方向性

3. 最先端技術の獲得と新たな展開

APANA Inc. への出資



技術の優位性

- センサー技術
- 省電力データ通信技術
- 独自ロジックによるデータ解析技術

実績

大型商業施設の空調・調理・清掃・洗浄
における節水



国内商業施設・民間工場への展開に期待

Ⅲ. 経営の方向性

4. サービス事業への取り組み強化

サービス型ビジネスモデルの拡大



排水回収サービス (CORR™システム)



純水供給サービス (KWSS)

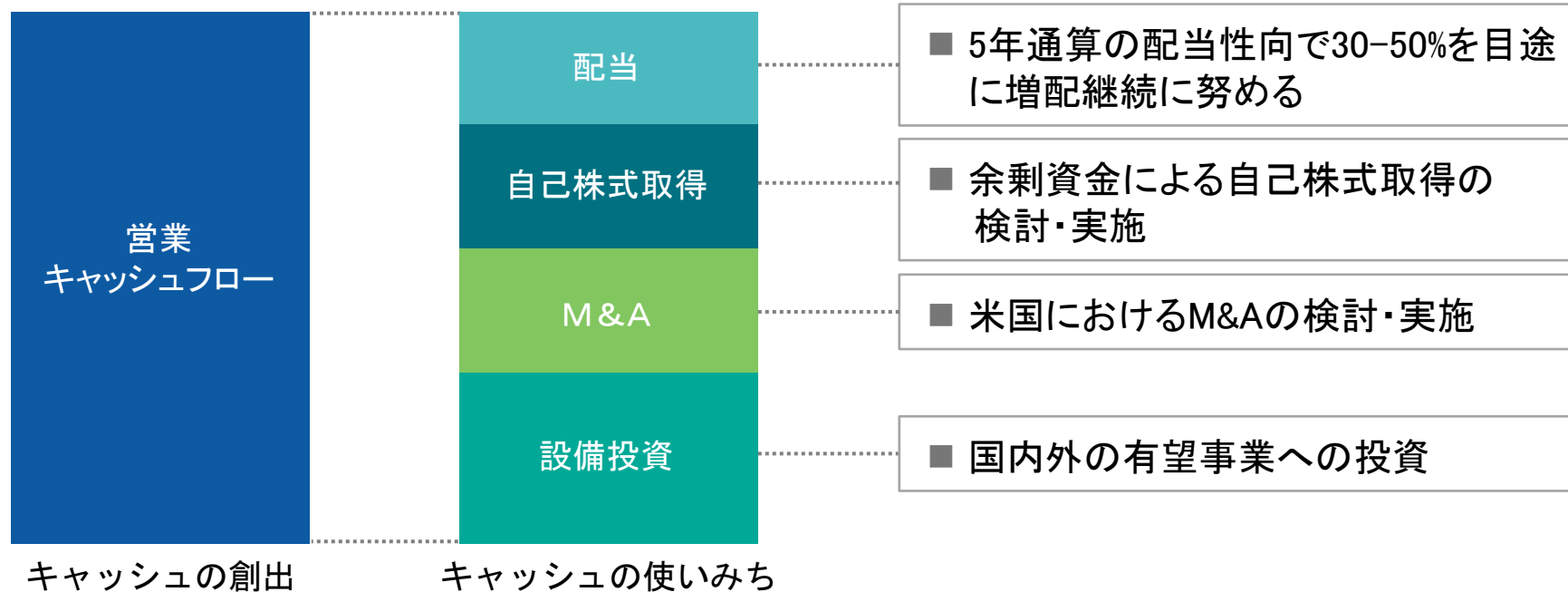
超純水供給事業



Ⅲ. 経営の方向性

5. 資本効率の向上

キャッシュの使いみち(方針) : CK-17計画期間中



- 運転資金と予備的資金を確保したうえで、余剰資金と自己資本の増加抑制に努める。
- 株主資本コストを上回るROEの維持とさらなる向上を目指す。

Ⅲ. 経営の方向性

6. 自己株式の取得と消却

【取得予定】

取得株式総数	400万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合：3.45%)
取得価格総額	100億円(上限)
取得期間	2017年3月2日～5月31日

【消却】

消却株式数	2,963,900株 (消却前発行済株式総数に対する割合：2.49%)
消却日	2017年4月6日
消却後発行済株式総数	116,200,694株

2017年3月期 営業利益増減分析

(単位: 億円)



注* 原価率変動影響は、売上総利益率を用いて算出しています。



■ U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>
■ M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。